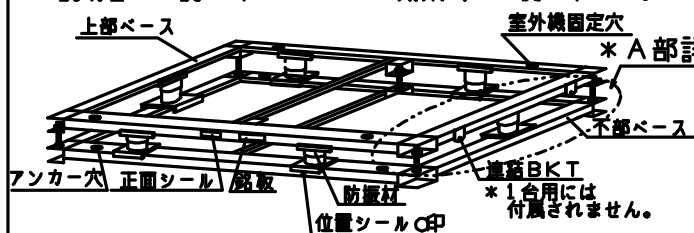


■ モジュールマルチ用防振架台 取付要領書

当社防振架台をご採用いただきまして有難うございます。
この説明書をお読みくださいまして効果的にお使い下さい。



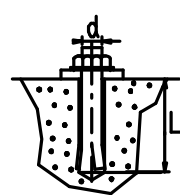
■ 次の事項を確認して下さい。

- ・銘板の型式名はご注文の品と合っていますか。
- ・防振架台に破損箇所はありませんか
- ・防振材の位置がずれていませんか。
(防振材の位置は機器に合せO印が貼ってあります。ずれていたら、O印の位置に戻して下さい。)
- ・付属品は揃っていますか。
(ポリ袋入りで架台にテープ止めてあります。)

<リスト>

機器取付用 六角ボルト、ナット(ダブル)、角座金、平座金

注： 基礎ボルトは付属しておりません。お客様にて下記推奨品相当のボルトをご用意下さい。又、後打ち作業の場合は下記アンカーボルトをご使用下さい。
(基礎ボルト推奨品：JIS-B-1178, L型)



●短期許容引抜荷重(N)

| ボルト径 d(呼称) | コンクリート厚さ(mm) | | | | 埋込長さ (mm) |
|---------------|--------------|-------|-------|-------|--------------|
| | 120 | 150 | 180 | 200 | |
| M12 | 6570 | 6570 | 6570 | 6570 | 60 |
| ボルトの埋込長さ(mm) | 100以下 | 120以下 | 160以下 | 180以下 | |

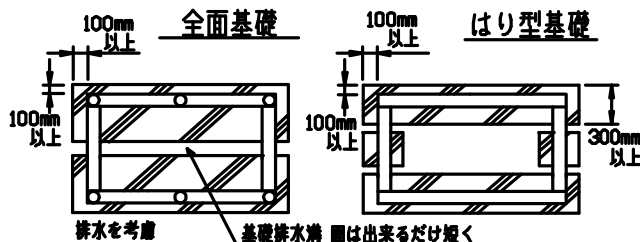
*コンクリート基礎強度1760(N)/cm²とします。

*アンカードリルサイズは 12.7mm です。

■基礎について

- ・基礎は全面基礎で防振装置の下ベースを隙間なく支持して下さい。基礎の上面は水平を出し、下ベースと密接するように、平滑に仕上げて下さい。また下部基礎の内側の排水を考慮して下さい。
- ・はり形基礎で支持される場合には、不連続部をできるだけ短く施工して下さい。

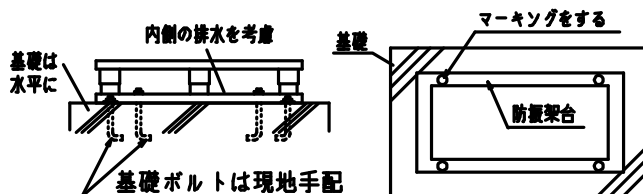
- ・基礎には必ず配筋を行い、アンカーボルトは耐震基準に準じて埋設して下さい。
- ・機器の周囲は、サービス・スペースを500mm以上とるようにして下さい。
(サービス・スペースがとれない場合は架台設置の前に一度機器本体を載せて、水平調整をしておいて下さい。)



取付け順序

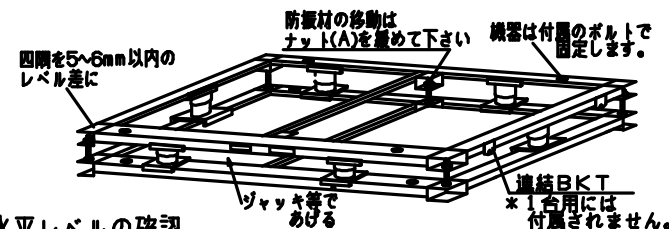
1. 防振架台の設置

- 架台の上ベースに機器正面側ラベルの表示がしあります。据付け方向を確認して下さい。
- 基礎面が傾斜している場合はファイナ等で水平を出して下さい。
- アンカーボルトは室外機を乗せる前に施工して下さい。
(1) あと施工アンカーを使う施工
防振架台を据付け位置に置き、基礎上にアンカー位置をマーキングした後、あと施工アンカーを埋め込んで固定して下さい。
- (2) 基礎ボルトの場合
先施工の基礎ボルトを用いる場合は、納入仕様書のアンカーボルト寸法を確認し、基礎ボルトを固着した後、防振架台を据付けて下さい。



■室外機の取付け

室外機を防振架台の機器取付穴に合わせて載せ、付属の取付ボルトナットで固定して下さい。
(取付ボルトはダブルナット仕様)

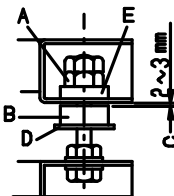


■水平レベルの確認

- ・ストッパーボルトが垂直か御確認下さい。
- ・水平調整は防振材の移動で行い四隅の高さの違いを5~6mm以内におさえます。
- ・もしその差が大きい場合にはミニジャッキ等を上下ベースの間に入れ、ベースを持ち上げ防振材を移動し調整して下さい。
- ・ストッパーボルトのナットをゴムに接触するまで軽く締めして下さい。

■揺れ止め耐震ストッパーの調整

- ・揺れ止めゴム(B)を回して隙間Cを2~3mmにして下さい。
 - ・揺れ止めゴム(B)を押さえながらロック座金(D)を回して締めして下さい。
 - ・ダブルナット(A)をスパナ等でゴム(E)に軽く接触するまで締めして下さい。
- これで設置は終了です。



■お願い

防振架台を連結設置する時は連結BKTを、付属M10にて締めつけ連結とします。

*左上A部詳細

